給食だより １月号

令和　８　年１月８日
大田区立多摩川小学校
校　長　　福地　　伸

　あけましておめでとうございます。今年も安全・安心を第一に、おいしく楽しい給食づくりに取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

１月２４日～２月６日は「大田区学校給食週間」です

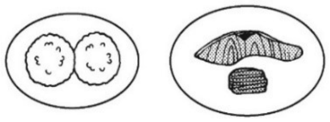
　日本の学校給食は、明治２２年（１８８９年）に始まって以来各地に広がっていきましたが、戦争のため中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態悪化を改善するために、昭和２２年（１９４７年）に再開されました。

　児童・生徒や教職員、保護者・地域の方の給食に対する理解を深め、関心を高めるための期間として、１月２４日から１月３０日は「全国学校給食週間」と定められています。さらに大田区では、２月６日（海苔の日）まで延長した、１月２４日から２月６日を「大田区学校給食週間」としています。

おにぎりで始まった学校給食

○明治時代の給食

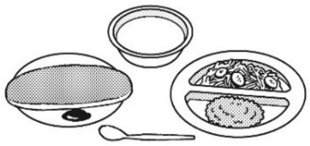
　山形県のお寺で、おにぎりが無償提供されたことが始まりと言われています。



○大正時代の給食

　栄養不足のこどもが多く、栄養改善のための方法として、給食が国から奨励されました。

　戦時中は、食糧不足などの理由で給食が中止されてしまいました。



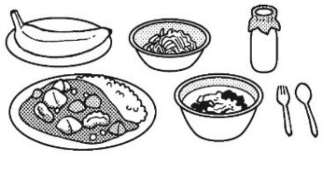
○昭和時代前半（戦後）の給食

　主食はコッペパンが定番でした。捕鯨が推進され安価で高たんぱくな鯨肉がよく提供されました。

○昭和時代後半の給食

　洋食化が進み、現在でも人気のスパゲッティなどの洋食メニューが見られるようになりました。

　当時は袋に入ったソフトめんが定番でした。



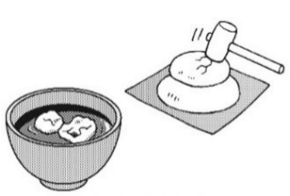
○平成時代の給食

　米飯給食のために補助金が出され、徐々に米飯の回数が増えていきました。

✿１月の行事食✿

１月９日（金）「すいとん入り七草汁」

　１月７日は「人日の節句」です。この日に七草がゆを食べる習慣は、江戸時代に広まったそうです。七草は早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うとされ、一年の無病息災を願って七草がゆを食べます。正月のごちそうで疲れた胃腸をいたわるためという説もあります。給食では、だいこん、かぶ、せりを使って作ります。

１月１３日（火）「白玉雑煮」

　１月１１日は鏡開きです。鏡開きとは、お正月に年神様にお供えしていた鏡餅を下げ、雑煮やお汁粉などにして食べるという習慣です。鏡餅を開くことで、年神様をお送りし、無病息災を祈ります。